

提 案 概 要

(北九州市立福祉会館・戸畑市民会館 指定管理者)

団体名：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

1 指定管理者としての適性について

| |
|--|
| (1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 |
| 【理念】福祉と文化の融合：一体的管理で相互に利用目的を超えた価値の提供・市基本計画との連携 |
| 【基本方針】①設置目的の確実な達成 ②安全・安心、効率的な管理運営 ③危機管理体制の強化 ④社会貢献・地域貢献 |
| (2) 安定的な人的基盤や財政基盤 |
| 【人的基盤】○常勤職員 179 名、非常勤職員 378 名、福祉関係専門資格 150 以上保有 ○設備、警備、清掃は、経験豊富な専門企業とチームを組んだ管理運営 |
| 【財産基盤】○社会福祉法人として、法令や会計基準を遵守し 60 年の安定的運営 ○直近5年間の純財産14億以上、R5期末支払資金2億 7 千万(約5か月分) |
| (3) 実績や経験など |
| ○ウェルとばた22年間で平均利用日数率 80.3% ○4期は新たに、ウェルとばたサンクス大賞、80 歳からの合唱団北九州、80 歳からの歩こう会 ○本会福祉系専門資格 延べ 157、設備等委託先専門資格 延べ62 |

2 管理運営計画の適確性

| |
|---|
| 【有効性】に関する取組み |
| (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み |
| 【事業計画】 ①設置目的の確実な達成：○市民福祉活動の活性化 ○芸術文化の向上 ○まちの賑わい創出 ②安全・安心、効率的な管理運営：○安全配慮 ○バリアフリー視点 ○省エネ・省コスト・長寿命化 ③危機管理体制の強化：○災害時被災者救済 ○帰宅困難者対応 ○入居団体・近隣施設との連携 ④社会貢献・地域貢献：○高齢・障害者雇用促進 ○SDGs対応 ○地域交流 ○関係団体との連携 |
| 【数値目標】利用日数率(%) R5⇒R11 ○会議室 67.6⇒77.0 ○多目的ホール 84.3⇒88.0 ○大・中ホール 78.0⇒81.0 |
| 【利用者の増加や利便性を高めるための取組み・営業、広報活動、賑わいの創出、自主文化事業】 ○オープンスペースを活用した市民ギャラリー、障害者アート展示、気軽に立ち寄れる雰囲気づくり ○イベントの円滑な運営の支援や、高齢者、障害者、外国人にも使いやすい施設へのリニューアル ○会議室の時間貸しやキャッシュレス決済、駐車場料金上限設定等を市と協議 ○HP、SNS 等を活用した広報、デジタルサイネージの整備、多方面へのテナント誘致活動 ○(福祉会館)ウェルカムコンサートや秋まつり、「くきのうみ花火の祭典」観賞会など ○(市民会館)新春歌まつり、福祉映画上映会、ホールでピアノを弾いてみませんかなど |
| (2) 利用者の満足度 |
| 【利用者の満足向上、意見の把握、苦情対策、情報提供、サービスの質の維持・向上のための取組み】 ○職員研修による接客スキルアップとニーズに対する丁寧で柔軟な対応、快適な空間の提供 ○利用者アンケート(第4期を通じて満足度99%を実現)とヒアリング、HPでもニーズ把握 ○十分な傾聴と、苦情解決実施要綱およびカスタマーハラスメント対応マニュアルに則った苦情対応 ○利用者に合わせた情報提供ツールの選択、デジタルサイネージの活用 ○学生とともに作る「若者のたまり場」 |

| 【効率性】に関する取組み |
|---|
| (1) 指定管理料及び収入 |
| 【指定管理業務に係る費用を最小限に抑え、収入を最大限確保する取組み】 |
| ○ 適正な人員配置、丁寧なメンテナンスで省エネ・省コストの徹底、環境へも配慮 |
| ○ 稼働率の向上による利用料収入確保、利用者ニーズに沿った施設の付加価値向上 |
| (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 |
| 【収支計画の妥当性、実現可能性、再委託適切性】 |
| ○物価高騰等に伴う再委託経費の適正な水準の確保、人員配置や事務費の見直しによる効率的な運営 |
| ○専門性を必要とする業務について、地元企業・障害者就労支援に視点を置いた再委託先の選定 |

| 【適正性】に関する取組み |
|---|
| (1) 管理運営体制など |
| 【管理責任者、管理体制、人員配置、資格・経験、職員の資質・能力向上、住民や関係団体等との連携】 |
| ○管理責任者＝総務企画部長、現場責任者＝ウェルとばた管理課長でマネジメント |
| ○11名配属、うち4名を高年齢者雇用、3区分のシフト勤務で1日5名配置 |
| ○社会福祉士、設備等委託先専門資格者を配置 |
| ○各種マニュアルの整備と職場研修、専門研修への派遣、自主的な研修、資格取得への支援 |
| ○戸畑区役所、警察署、消防署等の関係機関、入居団体、周辺商店、高等学校等と連携した事業実施 |
| (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など |
| 【個人情報保護、平等利用、安全対策や事故発生時の対応、防災対策、非常災害時の危機管理体制など】 |
| ○個人情報保護に関する規程等の整備と研修、適切な取り扱いの徹底 |
| ○障害者差別解消条例の遵守、マニュアル整備と均一的な対応、公平な予約受付の実施 |
| ○警備員による巡回、設備の定期点検実施、緊急時の事故対応マニュアル整備 |
| ○戸畑駅前地区防災相互協定による連携、社協の全国ネットワークを生かした災害支援 |
| ○本会 BCP(事業継続計画)の策定による全部署での相互協力 |
| (3) 地域貢献・社会貢献 |
| <社会貢献>【高齢者・障害者等の雇用促進、労働環境向上、SDGsの達成、環境への配慮】 |
| ○高齢者を継続雇用し、障害や業務の特性に応じた雇用の促進 |
| ○労働法令を遵守し、ワークライフバランスの向上に向けた休暇制度の充実 |
| ○在住外国人へのニーズに応じた多言語対応などの環境整備、多文化共生社会への取り組み |
| <地域貢献>【地域活動や地域交流などへの取り組み、地域団体や市内事業者との連携】 |
| ○子ども・若者の未来を応援する、サロン活動、学生の居場所づくり、こどもまんなかアクション |
| ○地域住民主体の会議等への参加、実行委員会形式での市民会館まつり開催 |
| ○障害者就労支援事業所への協力、障害者芸術祭への参画等 |

提案額（千円）

| | |
|--------|-----------|
| 令和7年度 | 249,752千円 |
| 令和8年度 | 249,752千円 |
| 令和9年度 | 249,752千円 |
| 令和10年度 | 249,752千円 |
| 令和11年度 | 249,752千円 |